

《履修上の留意事項》対面授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》 花淵馨也 佐藤圭史 中田雅美

【概要】

グローバル化が進行する現代世界において、医療や福祉は国際的な結びつきの中で捉えるべき問題となっている。この講義では、諸外国における疾病や貧困、治安の問題、国際援助のあり方をめぐる問題など、人の健康や安全にかかわる世界の様々な問題について取り上げ、国際的な視点から福祉や生活の課題について理解し、説明できる能力を習得する。

【学習目標】

一般目標

社会人および医療人として、国際社会の視点に立った思考や行動を身につける。

行動目標

1. 国際社会福祉の課題を説明できる。
2. 国際社会福祉の課題を掘り下げ、問題解決方法を提示することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	講義計画の概要説明、自己学習の進め方	花淵馨也 佐藤圭史 中田雅美
2 3	グローバル化と貧困	グローバル化した世界における不均衡な関係について理解し、国際社会が抱える課題について説明できる	花淵馨也
4 5 6	アフリカ問題と国際援助	最貧国が集中するアフリカの問題について理解し、国際援助のあるべき形について説明できる	花淵馨也
7	ヨーロッパとは？	多様性を含む欧州社会の構造を正しく説明できる	佐藤圭史
8	ヨーロッパの社会問題	移民問題を中心としたヨーロッパの社会問題を正しく把握し、それに対する自分の考えを表現できる	佐藤圭史
9	ヨーロッパの社会保障制度上の問題	移民問題から派生した社会保障制度の揺らぎを巡る問題を正しく把握し、それに対する自分の考えを表現できる	佐藤圭史
10	ヨーロッパ（東欧）におけるリハビリテーションを取り巻く環境	欧州・ロシアのリハビリテーション施設の現状を具体的事例を用いて当該施設の抱える良い点・悪い点を見出し、あわせて日本のリハビリテーション施設との差異に関して説明できる	佐藤圭史
11	グローバルという考え方	グローバルとは、地球規模の視野と地域の視点でさまざまな問題を捉えていこうとする考え方である。国際社会における課題をアジア、日本、北海道から思考することが出来る。	中田雅美
12	幸福度が高い北欧	OECDが発表する幸福度ランキングで北欧は上位を占めている。幸福度の高さの背景にある北欧の社会保障について理解することができる。	中田雅美
13	デンマークの社会福祉	デンマークの社会福祉を通して、ケアが必要な人を支える社会について考察することが出来る。	中田雅美
14	スウェーデンの社会福祉	スウェーデンの社会福祉について特別講師にお話しただく。北欧諸国やアジア、日本と比較しながら社会福祉の課題を掘り下げることが出来る。	中田雅美 渡辺まどか（特別講師）
15	まとめ	授業全体を振り返り、今後の課題を展望する	花淵馨也 佐藤圭史 中田雅美

**【評価方法】**

レポート100%。各担当者による小レポート（計3回）の合計点で評価する。レポートの内容については、授業内でフィードバックする。

**【備考】**

教科書：なし。

参考書：なし。適宜紹介する。

**【学習の準備】**

1回の授業当たり、3時間程度の予習・復習が必要。予習では、図書館などの本を利用して課題について調べておくこと。復習では、配布資料やフィードバック済みレポート、授業内で指示した図書などで知識を深めておくこと。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

（DP5）国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力を身につけている。